

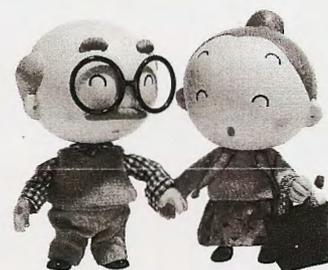
肺炎球菌ワクチンで 高齢者の肺炎予防

日本赤十字社・(社)宮城県医師会共同事業

70歳以上の方は **無料** でワクチン接種を受けられます

接種をご希望の方は、このポスターの貼ってある医療機関窓口にお申し出ください

- 肺炎は日本人の死亡率の第4位です。
75歳を超えてから肺炎による死亡率は男女ともに急激に増加します。
- 肺炎の約半数が肺炎球菌によるものといわれています。
肺炎球菌による肺炎を予防するには、予防接種が有効です。
(約80%は予防できると考えられています。)



再接種の場合は、医師にご相談ください

肺炎球菌ワクチンは、通常5年程度有効と考えられています。

なお、再接種については、接種部位が腫れるなどの副反応が強くなることから、前回接種から十分な間隔をあげる必要があります。(特に、5年以内に再接種すると、副反応が起きやすいことが報告されています)

- 1. 対象者** 宮城県内に住所を有する方で、70歳以上の方。
(震災時宮城県に住所を有していた方を含む平成24年3月31日までに70歳以上になる方)
- 2. 負担金** ありません。 **無料**
- 3. 期間** 平成24年**3月31**日まで。ただし、接種予定数に達し次第終了いたします。

高齢者肺炎球菌ワクチン接種費用助成事業について

日本赤十字社の被災地復興支援の一つとして、高齢者の健康を守るため、肺炎球菌ワクチン接種費用を助成いたします。この助成は、日本赤十字社に寄せられた海外救援金を財源とし、宮城県医師会との共同事業として実施いたします。財源に限りがあるためワクチン接種者数が県下全体で約19万人に達した時点で、予定実施期間中でも助成終了としますので、あらかじめご承知おき下さるようお願いいたします。

助成金の財源

この高齢者肺炎球菌ワクチン接種費の助成については、海外各国の赤十字社から日本赤十字社に寄せられた海外救援金を財源としています。

日本赤十字社の支援活動

海外各国の赤十字社から日本赤十字社に寄せられた海外救援金を基に、仮設住宅等入居者の皆さんへの生活家電セットの寄贈、福祉施設に対する介護ベッドの寄贈、医療施設の復旧支援等、被災地に対する復旧、復興支援を行っています。